



姉妹都市提携50周年



八尾市の姉妹都市

アメリカ合衆国ワシントン州

ベルビュー市

ベルビュー市の概要

交流の
あゆみ



City of Bellevue



sister cities since 1969

八尾市の交流事業

姉妹都市提携50周年記念訪問

姉妹都市提携50周年にあたる2019年に大松桂右市長を団長としてベルビュー市を訪問しました。ベルビュー市において姉妹都市提携50周年を記念した植樹式や記念式典等の大変温かい歓迎を受け、半世紀にわたり培ってきたお互いの交流による絆をさらに深めたところです。また、ベルビュー市内の公園や市庁舎を視察し、まちづくりや産業交流についての意見交換も行いました。

記念式典ではジョン・シェルミニックベルビュー市長(当時)より、ベルビュー市のメインストリートの一つに「YAO CITY DRIVE(八尾市通り)」という名誉称号を設置するとの発表がありました。



贈呈された八尾市通りのプレート



シアトル・タコマ空港で歓迎のお出迎え



今後の更なる交流を願い握手



総領事公邸応接室にて



楓の植樹

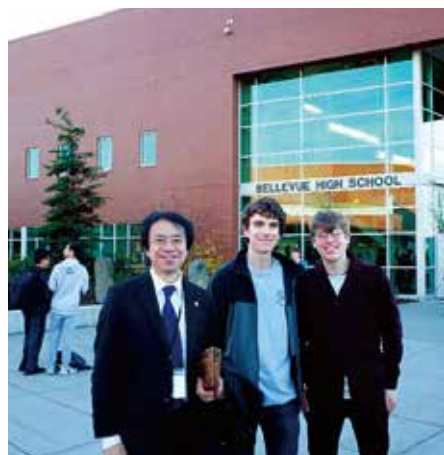


【団員】大松桂右市長・田中慎二市議会議員をはじめとする5名の行政関係者と6名の姉妹都市提携協会員

【日程】2019年11月6日～9日(行政関係者)
2019年11月6日～10日(姉妹都市提携協会員)

●ベルビュー高校視察

ベルビュー高校では、音楽やダンスによる歓迎会で迎えられました。歓迎会は、2019年の八尾市への交換学生(ダリル・グラッツ君、エバン・グラッツ君)と2018年の交換学生(ブレイク・オステム君)によるスピーチで始まり、八尾市を訪れたときの思い出や学生同士の交流の思い出が語られ、とても感激しました。その後、バイオリン重奏、ギター重奏、日本文化のクラスの生徒による演奏が行われました。最後は、日本語を勉強している30人くらいのクラスで行われた、日本の文化と日本語を学ぶJIS(Japan in the school)というワシントン日米協会のプログラムを使った授業を見学しました。



姉妹都市提携協会灘会長とダリル君、エバン君



ダリル君、エバン君のスピーチ

八尾市姉妹都市提携協会の事業

八尾市とともに親善訪問団の相互派遣を行うほか、交換学生の派遣・受入、全米青少年美術コンテストの実施、YSCAニュースの発行など市民間のベルビュー市との交流に力を注いでいます。



●ベルビュー市教育視察団受入事業

ベルビュー市では、多くの日本企業の子どもたちが現地校で学んでいることから、シアトル日本商工会(春秋会)が主体となり、日本の教育について理解を深めていただくため、ベルビュー市の教育関係者を日本に派遣しています。八尾市においても、毎年ベルビュー市の教育視察団を市内の小・中学校に受け入れ、学校の授業等を視察いただき、教育関係者や生徒たちとの交流を図っています。



YSCAニュース

●交換学生

海外での生活体験を通じて、国際感覚を養い、視野を広めることを目的に、両市の学生を相互に派遣しています。両交換学生がお互いの家に交互にホームステイし、文化や習慣に触れながらさまざまなことを学んでいます。また、歓迎パーティーやホームビジットなどを通じて、交換学生と協会員との交流も図っています。



2019年 第40回交換学生



ベルビューガーデン(本町第2公園内)

ベルビューガーデンは、八尾市とベルビュー市との友好と親善を象徴するものとして、昭和46年に当時の市立労働会館(山本町)に造園され、その後施設の改廃にともない平成6年に八尾木第1公園に移転し、永く市民に親しまれてきましたが、平成22年5月に現在の本町第2公園内に移転しました。ベルビューガーデンには姉妹都市提携40周年を記念した記念碑等が設置されています。また、公園管理事務所にはベルビュー市との交流の歴史を紹介するパネルや交流記念品を展示しています。



2019年 表彰式

●全米青少年美術コンテスト

市内在住、在学の中学・高校生から美術作品を募集し展示しています。協会では応募作品の選考を行い、最優秀作品1点を、ベルビュー市姉妹都市協会を通じて全米青少年美術コンテスト本選に出展しています。

なお、本選において入賞した作品については、その後全米を巡回しながら展示されます。

●市制施行周年事業

八尾市は1948(昭和23)年に、ベルビュー市は1953(昭和28)年にそれぞれ市として発足しました。1969(昭和44)年に姉妹都市提携を行って以降は、互いの節目となる年に代表団を招へいしてきました。

八尾市制施行40周年には八尾市の友好都市である上海市嘉定区とともに三都市の平和アピールを行いました。また、八尾市制施行50周年・60周年記念式典において、これまでの姉妹友好交流の発展と本市の国際親善に寄与したことにより、八尾市からベルビュー市へ顕彰状を贈呈しました。平成30年の八尾市制施行70周年記念式典ではリン・ロビンソン副市長(当時)に参列頂きました。

●親善訪問団

親善訪問団は、両市の友好親善の中心となる団で、市・市議会その他、八尾市姉妹都市提携協会や市民などが、幅広く参加しています。施設等の視察や歓迎交流会・ホームビジットへの参加など、さまざまな交流を行っています。



平成29年 ベルビュー市親善訪問団来市



平成30年 市制70周年記念式典



平成30年 市制70周年国際交流都市歓迎会



八尾市の姉妹都市

ベルビュー市の素顔

ベルビュー市は、美しい自然に溢れ、産業分野でも発展が著しい都市です。シアトル市の東部に位置しており、人口は約14万人で八尾市の半分、総面積は約87平方キロメートルで八尾市の約2倍です。フランス語で「美しい眺め」という名のとおり、緑と湖に囲まれた美しい街です。市の中心部には、ワシントン州東部最大のショッピングセンターや高層ビルが建ち並び、経済活動も活発な都市で、教育面では公立学校の多くが全米公立学校ランキングの上位を毎年維持しています。

ベルビュー市の芸術・文化

ベルビュー市は、文化のまちとしても有名で、市内には、ベルビュー美術館やロザリー人形芸術博物館があり、毎年、美術工芸フェアが行われるほか、ベルビュージャズフェスティバルやベルビューフィルハーモニー管弦楽団による演奏会なども開催されています。

また街には、至る所に芸術家によって手がけられた芸術作品が展示されています。



成長する街

ベルビュー市庁舎の前では、リンク・ライトレール(鉄道)の延伸工事が行われており、開通すれば慢性的に道路渋滞しているシアトル～ベルビュー間の効率的な移動が可能になります。



ベルビュー市庁舎の随所を彩るアート作品



ベルビュー市庁舎

ベルビュー市庁舎はベルビュー市の中心街でバスターミナルに近く、利便性のよい場所にあります。市庁舎前には鉄道駅の延伸工事が行われており、庁舎内には市民が見学しやすいよう配慮がされてました。



ベルビュー市庁舎内



ダウンタウンパーク

公園の中の都市ベルビュー

ベルビュー市は、「公園の中の都市」と呼ばれるほど、自然豊かな住環境に恵まれた都市で、市内には、マーサー湿地帯やレイクヒルズ緑地帯などの他の都市では見られない広大な自然が残されています。市内には、自然公園や農場のある公園、スポーツ・レクリエーション公園などの多様な公園が整備されています。



ボタニカルガーデン

市の中心部にあるボタニカルガーデンは、植物庭園・森林地帯・湿地などを含んだ約21ヘクタールの広大な公園で、多くのボランティアがこの公園の運営に関わり、植物を通じて地域のつながりを高める大切な場所になっています。

環境への配慮もなされており、園内のトイレの水、灌水装置の水は雨水を使用しているそうです。

園内には、姉妹都市提携25周年を記念して、移設開園された「八尾ガーデン」があり、八尾市から贈呈した石灯籠や三羽鶴などが展示されています。

姉妹都市提携50周年記念訪問時には、公園内に楓を植樹しました。



ボタニカルガーデン

住みやすい街

ベルビュー市の邦人数は約2200人(2018年現在)です。治安の良さ、移動のしやすさ(車が必須ではない)、田舎すぎず、ある程度都会なところが日本人にとっては住みやすい街となっているかもしれません。



セーフコ球場



レーニア山

ベルビュー市近郊

シアトルには大リーグマリナーズの本拠地、セーフコ球場などがあり、見所がいっぱいです。ボーイング社の工場見学は日本人観光客に非常に人気のツアーです。また、郊外には、ワシントン州のシンボルである独立峰レーニア山(国立公園)などがあります。

City of Bellevue



ベルビュー市

ワシントン州



ワシントン州

サンフランシスコ

ロサンゼルス

ニューヨーク

ワシントンD.C.
(アメリカ合衆国の首都)

アメリカ合衆国



ベルビュー市について

ベルビュー市は、アメリカ合衆国西北部ワシントン州シアトル市の東隣に位置する人口約14万人、ワシントン州で5番目に大きい都市で、西は、ワシントン湖、東には、サマミッシュ湖とカスケード山脈を境界としています。

気候は、温暖で夏の日中の最高平均気温は約24℃、冬の平均気温は約4℃と快適で過ごしやすい都市です。緯度が高い割には海流のおかげでさほど寒くないですが、雨が降りやすい街であります。お土産屋に行くと、コップの柄は傘が沢山描かれているほどです。

ベルビュー市のデータ

市制施行	1953年3月21日
州	ワシントン州
郡	キング郡
人口	約14万人(2019年現在)
面積	市域全体 87.8km ²
	陸上 79.6km ²
	水面 8.2km ²
姉妹都市	八尾市(日本)
	花蓮市(台湾)
	リエパヤ(ラトビア)
	クラドノ(チェコ)



ベルビュー市とのあゆみ

1963(昭和38)年4月、脇田市長(当時)の訪米に際し、八尾青年会議所の姉妹都市提携について依頼があり、ベルビュー市青年会議所を紹介いただきました。同月、両青年会議所間の姉妹提携が締結され、青年会議所間の交流が始まりました。

1969(昭和44)年7月に、ベルビュー市のコール市長(当時)が本市を訪問し、両市の姉妹都市提携について協議を行いました。その後、両市の市議会において、姉妹都市提携について可決し、同年11月には、大橋市長(当時)以下5名がベルビュー市を訪問し、「ベルビュー市と八尾市との姉妹都市提携に関する宣言書」に署名することにより、両市間の正式な姉妹都市交流が始まりました。また、1970年(昭和45)年に、現在の八尾市姉妹都市提携協会の前身である八尾市姉妹都市提携委員会が発足し、両市の市民間の交流も活発に行われるようになりました。

以来、両市の市民と行政が相互訪問する親善訪問団や、交換職員事業、ベルビュー市からの教育視察団受入事業などの行政間の交流の他に、協会事業としての交換学生、全米青少年美術コンテストなどさまざまな事業を通して、両市の友好は深められてきました。

八尾市姉妹都市提携協会(YSCA)とベルビュー市姉妹都市協会(BSCA)

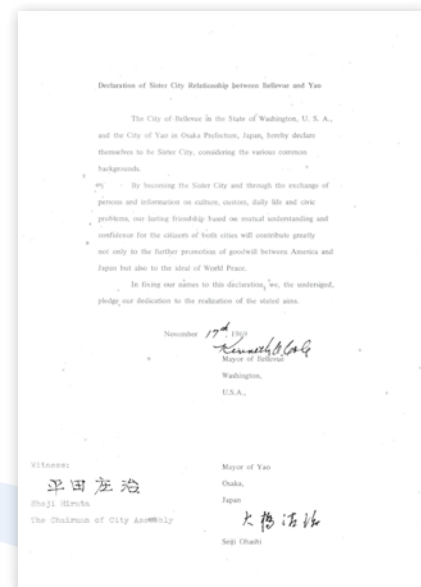
両市民の交流をつなぐ架け橋となる団体が、八尾市姉妹都市提携協会とベルビュー市姉妹都市協会です。両協会はこの50年の間、両市民の親善交流の中心となり、両市の友好関係を深めるため重要な役割を担ってきました。

八尾市姉妹都市提携協会

1970年3月19日八尾市姉妹都市提携委員会として発足し、1980年に現名称に変更。姉妹都市提携の精神にのっとり、両市民が相互理解と友好親善を深め、国際親善の増進に寄与するとともに会員相互の親睦を図ることを目的としてさまざまな交流を行っています。

ベルビュー市姉妹都市協会

ベルビュー市の姉妹都市である4つの都市(八尾市、台湾の花蓮市、チェコのクラドノ、ラトビアのリエパヤ)とそれぞれ交流を行っています。



1969年11月 姉妹都市提携宣言書

ベルビュー市と八尾市との姉妹都市提携に関する宣言書

アメリカ合衆国ワシントン州ベルビュー市と日本国大阪府八尾市とは、社会的、経済的背景において多くの共通点を有しており、ここに両市が姉妹都市関係を締結して両市民の交換を行い、都市問題、生活様式、習慣及び学術、文化の交流を推進することにより、両市民相互の理解と信頼を深め、ここにつちかう両市の永遠の友情は、日米両国の親善だけではなく、ひいては世界平和達成の理念に寄与することを確認し、両市が姉妹都市として提携することを宣言する。

以上の合意を確認するため、両市長が本書に署名する。

1969年11月17日